

～在留邦人の皆様へ～

(件名)

デリーにおける大気汚染の顕著化について

平成27年12月4日
在インド日本国大使館

1. デリーにおける大気汚染の現状

デリーの大気汚染については、10月15日発出のスポット情報で注意を呼びかけているところですが、11月中旬頃からデリー市内の粒子状物質(PM10およびPM2.5)の濃度が著しい高値を維持しています。

各種報道およびインターネット上で公表されている大気汚染物質モニタリングサイトの測定値によれば、デリー市内複数箇所におけるPM2.5の1日平均値は連日300 μ g/m³以上となっており、これはインドの1日平均値の基準(60 μ g/m³以下)および日本のPM2.5の1日平均値の基準(35 μ g/m³以下)を大きく上回っています。

例年の傾向から、この状態は1月下旬頃まで継続すると予想されます。

2. 一般的な対策

大気汚染対策として、大気汚染の顕著な時期には、一般的に以下の方法が考えられます。

(1) 不要不急の外出を控える。

(2) 外出時にマスクを着用する。

(「N95」という規格を満たしたマスクは、PM2.5を95%以上遮断する)

(3) 屋内では空気清浄機等を使用する。

3. デリーの大気質関連情報サイト

(1) インド地球科学省熱帯気象研究所 大気質気象予測研究システム(SAFAR)

デリー市内及び周辺(ノイダおよびグルガオン)の計10か所の観測点における、各種大気汚染物質(PM10, PM2.5等)の前日の測定値および、翌日、翌々日の予測値が表示されます。

<http://safar.tropmet.res.in/>

(2) デリー準州政府汚染制御委員会によるリアルタイム大気質データデリー市内6か所の観測点における、各種大気汚染物質(PM10, PM2.5等)の測定値が表示されま

す。

<http://www.dpccairdata.com/dpccairdata/display/index.php>

(3) 当地アメリカ大使館及び各総領事館のリアルタイム大気質データ

インド国内5都市(デリー, ハイデラバード, コルカタ, チェンナイ, ムンバイ)の米国在外公館におけるPM2.5の観測結果が, アメリカ式の大気質指数(AQI)で表示されます。

<http://newdelhi.usembassy.gov/airqualitydataemb.html>

(以下のサイトで, アメリカ式AQIからPM2.5濃度への変換が可能)

http://airnow.gov/index.cfm?action=resources.aqi_conc_calc

(参考情報)

○スポット情報「デリーにおける大気汚染」(10月15日付け)

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo.asp?infocode=2015C311>

○在インド日本国大使館ホームページ「大気汚染関連情報」

http://www.in.emb-japan.go.jp/Japanese/pollution_info.html

○環境省ホームページ

微小粒子状物質(PM2.5)に関する情報

<http://www.env.go.jp/air/osen/pm/info.html>

微小粒子状物質(PM2.5)に関するよくある質問(Q & A)

<http://www.env.go.jp/air/osen/pm/info/attach/faq.pdf>